

# I 金沢市の家計収支の概況

## 1 全世帯の家計

### (1) 消費支出の概況

#### 消費支出は、2年連続実質減少から実質増加に転ずる

平成17年の金沢市・全世帯<sup>\*</sup>における消費支出は、1世帯当たり1か月平均333,954円(全国平均300,903円)で、前年に比べ名目で3.4%の増加となった。また、消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)が0.3%低下したことにより、実質では3.7%の増加となった。

最近の動きを見ると、消費支出の対前年の実質増加率は平成5年から11年までは増減を繰り返し、12年5.0%、13年3.8%と2年連続の減少となった後、14年5.0%と増加となり、15年は1.3%、16年8.1%と2年連続減少になった後、17年3.7%の増加となった。(図1, 2参照)

※ 全世帯：調査世帯数96世帯、平均世帯人員3.11人、世帯主の平均年齢54.5歳

図1 1世帯当たり1か月平均消費支出額の推移(金沢市・全世帯)

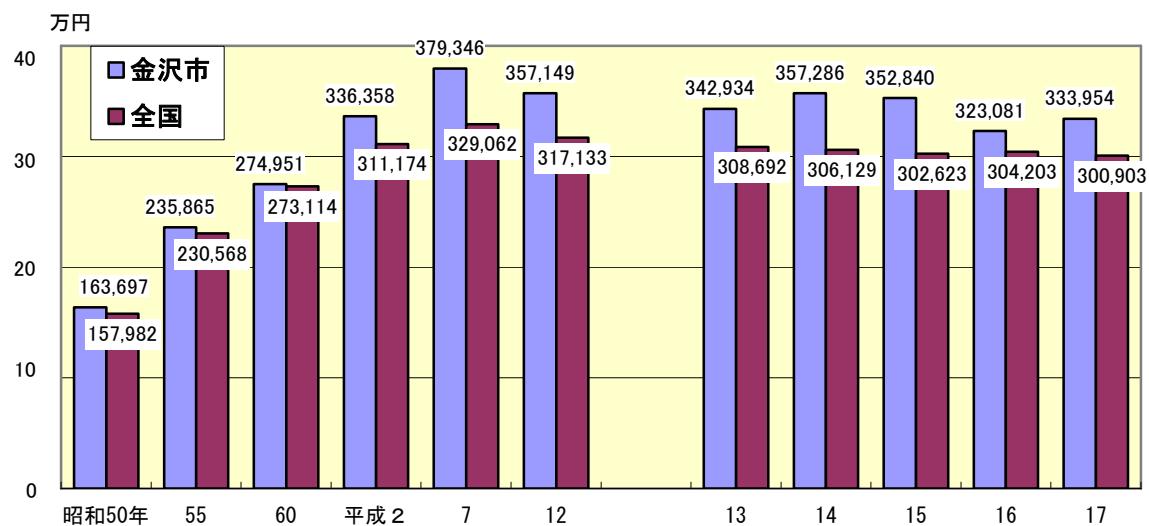
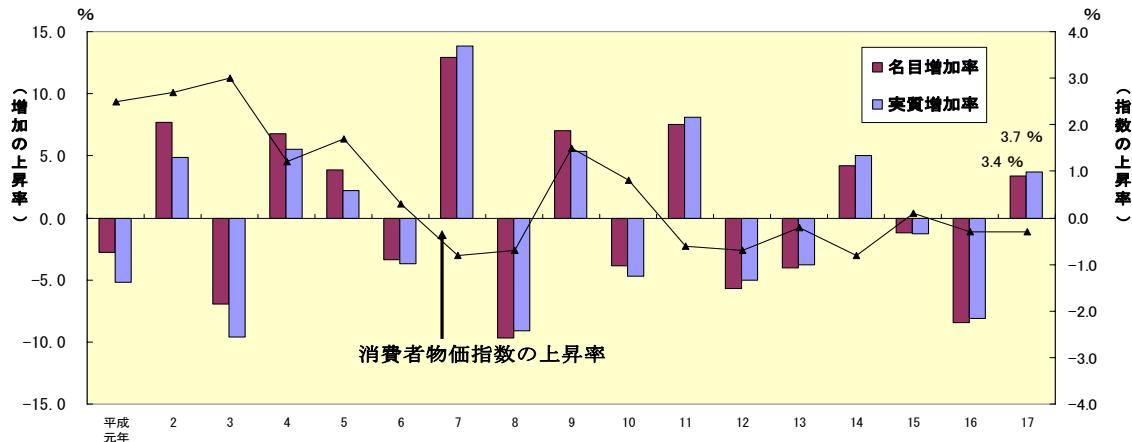


図2 1世帯当たり1か月平均消費支出の対前年増加率(金沢市・全世帯)



また、1人当たりの1か月平均消費支出をみると、平成17年は107,381円(全国平均95,525円)で前年に比べ実質で10.0%の増加となった。(図3, 4, 5参照)

図3 1人当たり1か月平均の消費支出額の推移(金沢市・全世帯)

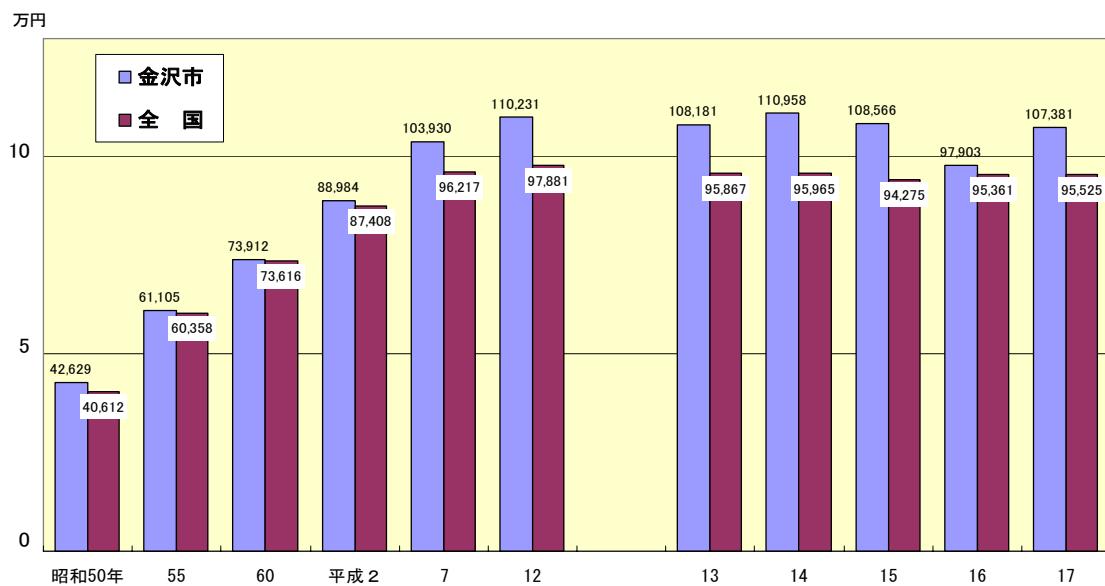


図4 1人当たり1か月平均の消費支出の対前年増加率(金沢市・全世帯)

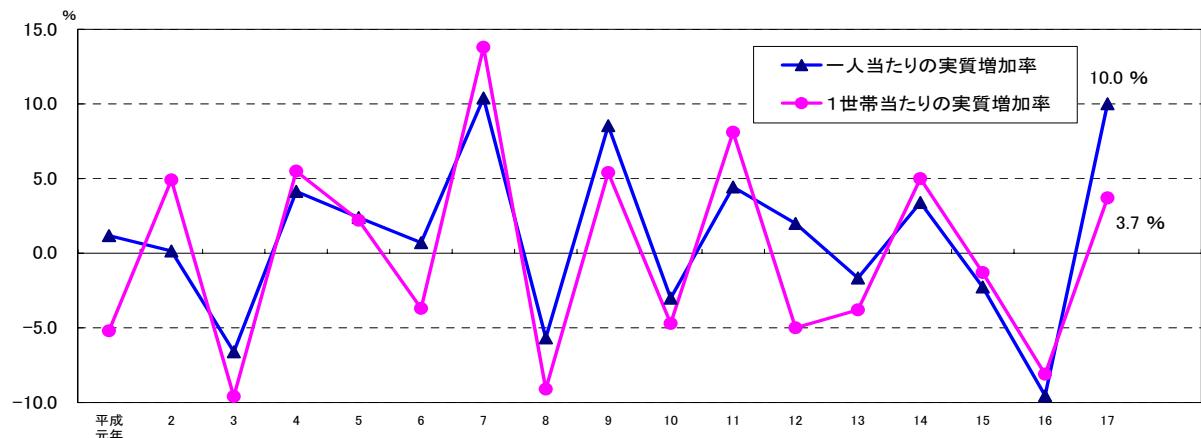
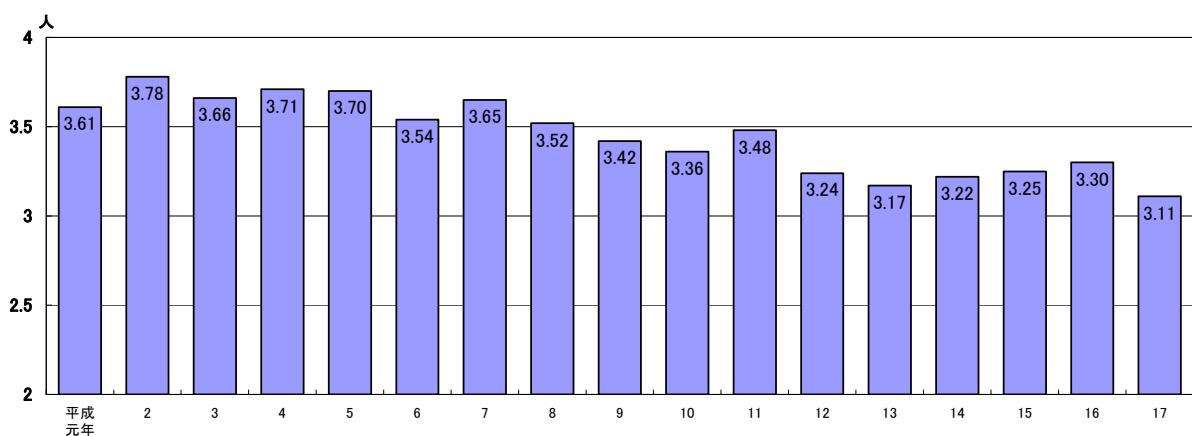


図5 平均世帯人員の推移(金沢市・全世帯)



## (2) 消費支出の費目別内訳

消費支出（生活費）の特徴を10大費目別に、前年と比べてみると、光熱・水道、家具・家事用品、保健医療などが実質増加し、住居、被服及び履物、教育、などが実質減少した。

（図6 参照）

費目の内容についてはP41, 42を参照

### ① 食 料

1世帯当たり 75,423円で、実質3.4%の増加。穀類、魚介類、肉類、野菜・海藻、調理食品、飲料が増加する一方で、酒類、外食が減少。

### ② 住 居

1世帯当たり 15,141円で、実質23.5%の減少。設備修繕・維持が減少。

### ③ 光熱・水道

1世帯当たり 25,674円で、実質3.8%の増加。電気代、上下水道料が共に増加。

### ④ 家具・家事用品

1世帯当たり 10,377円で、実質20.1%の増加。家庭用耐久財、室内装備・装飾品、寝具類が大幅な増加。

### ⑤ 被服及び履物

1世帯当たり 15,443円で、実質12.2%の増加。洋服、シャツ・セーター類、下着類、履物類が増加。

### ⑥ 保健医療

1世帯当たり 12,690円で、実質8.4%の減少。保健医療用品・器具、保健医療サービスが、減少する一方で、医薬品が、増加。

### ⑦ 交通・通信

1世帯当たり 43,063円で、実質5.4%の増加。交通、通信が増加する一方で、自動車等関係費が減少。

### ⑧ 教 育

1世帯当たり 14,630円で、実質3.6%の減少。補習教育が大幅に減少したが、教科書・学習参考教材が増加。

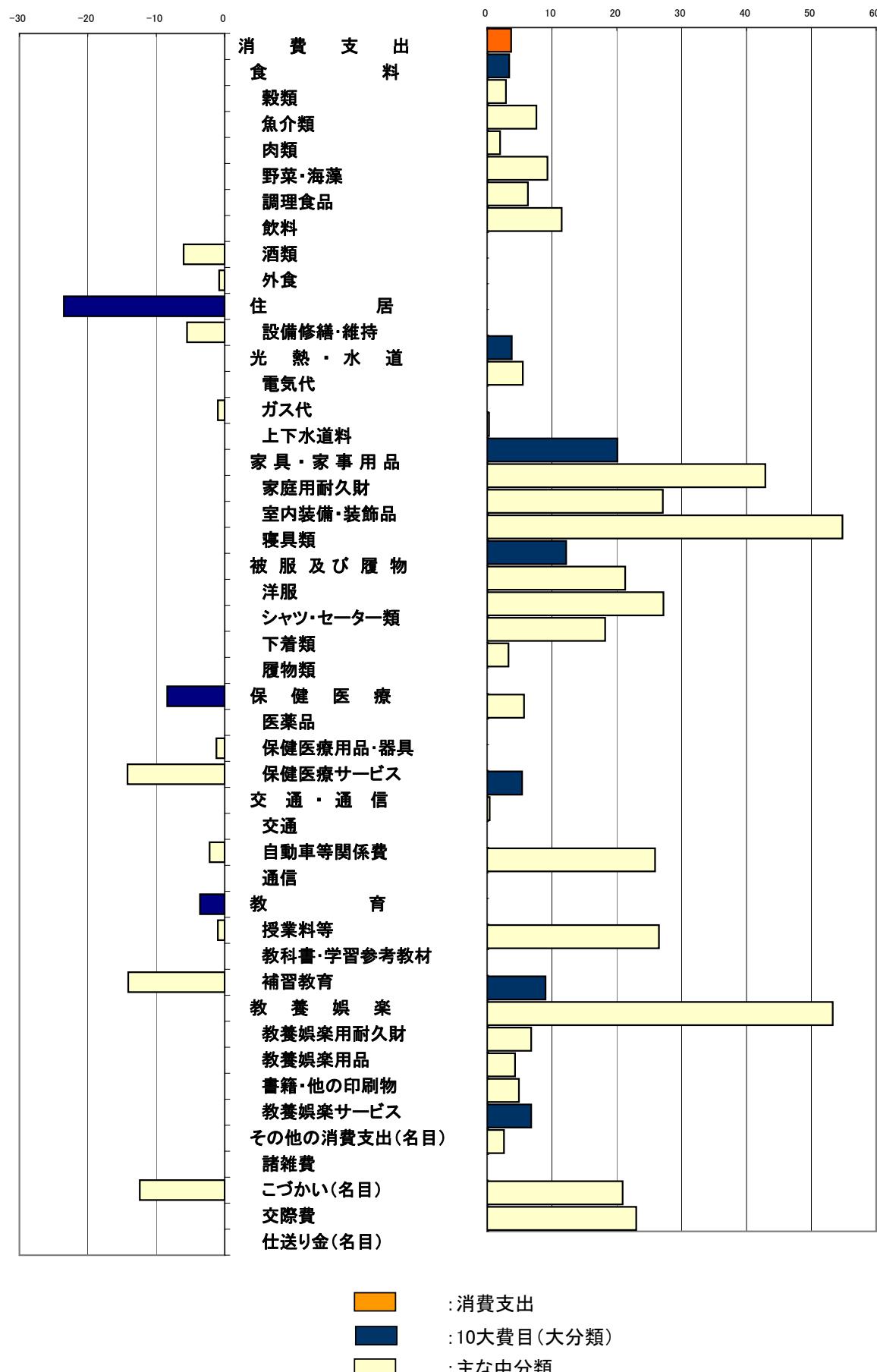
### ⑨ 教養娯楽

1世帯当たり 37,371円で、実質9.0%の増加。教養娯楽用耐久財が大幅に増加、教養娯楽用品、書籍・他の印刷物、教養娯楽サービスが増加。

### ⑩ その他の消費支出〈名目〉

1世帯当たり 84,141円で、名目6.8%の増加。諸雑費、交際費、仕送り金が共に増加。こづかいが減少。（その他の消費支出は、該当する消費者物価指数がないため増加率は名目で算出。）

図6 消費支出の費目別対前年実質増加率  
(金沢市・全世帯)



### (3) 消費支出の費目別構成比の推移

#### 教養娯楽の割合は5年連続の上昇となる

平成 17 年の消費支出の費目別構成比をみると、食料が占める割合(エンゲル係数)は前年比 0.4 ポイント低下して 22.6% となった。また、住居(4.5%)が 1.5 ポイント、保健医療(3.8%)が 0.5 ポイント、教育(4.4%)が 0.3 ポイントそれぞれ低下した。

一方、その他の消費支出(25.2%)が 0.8 ポイント、教養娯楽(11.2%)が 0.5 ポイント、被服及び履物(4.6%)が 0.4 ポイント、家具・家事用品(3.1%)が 0.3 ポイント、交通・通信(12.9%)が 0.3 ポイント、光熱・水道(7.7%)が 0.2 ポイント上昇した。

昭和 50 年と平成 17 年を比べると、食料は 10.0 ポイント低下し、被服及び履物が 6.1 ポイント、家具・家事用品が 2.8 ポイント低下した。

一方、交通・通信は携帯電話の利用増加やインターネットの普及等により、7.7 ポイント上昇した。

なお、金沢市の費目別構成を全国と比べても、ほぼ同じ割合となっている。(図 7 参照)

図 7 消費支出の費目別構成比の推移と全国との比較 (金沢市・全世帯)

